

コロキウム

「構造設計におけるRC非構造壁の実務的取り扱い手法の現状と課題」

鉄筋コンクリート造非構造壁の構造計算上での取り扱いに関する基本的な考え方は、「2007年度 建築物の構造関係技術基準解説書 付録 1-32」において、次のように示されている。

「設計者は構造計算に当たって、鉄筋コンクリート造の腰壁・そで壁等を構造壁と非構造壁とに明確に区別する。構造壁については、構造計算に於いて構造部材としての期待する性能を評価する。非構造壁については構造計算では無視するが、その壁が構造体に及ぼす影響を適切に評価することを原則とする。」

しかし現実をみると、建築構造として健全な方向であるかどうかは横に置いて、「君子危うきに近寄らず」が如く、スリットによって非構造壁を縁無き衆生と見なす手法が多用されるなど、構造設計上での非構造壁の取り扱い手法は、実務における具体的な個々のケースで噴出する素直な疑問や悩みに対処できるほど、その詳細は確立されていない。

本コロキウムでは、文献調査や解析的検討などの現状を通して、日常の構造設計実務において出会う非構造壁の取り扱い手法に関する課題・問題点について有益と思われる設計資料・知見を紹介する。

主催 日本建築学会近畿支部RC構造部会

協賛 日本建築協会、近畿建築士会協議会、日本建築家協会近畿支部、大阪建設業協会、日本建築材料協会、建築士事務所協会近畿ブロック協議会、建築業協会関西支部、日本建築構造技術者協会関西支部、建築設備技術者協会近畿支部、大阪建築設備設計事務所協会、日本建築総合試験所

日時 2008年11月7日(金) 13時30分～17時

会場 [建設交流会館](#) 7階 702号室 (大阪市西区立売堀 2-1-21)

プログラムの内容

- 1) 挨拶
- 2) 趣旨説明
- 3) 腰壁・たれ壁
- 4) そで壁
- 5) 方立て壁
- 6) 有開口壁
- 7) スリット
- 休 憩
- 8) ディスカッション
- 9) まとめ

定 員：100名 (申込先着順)

参加費：1,500円 (テキスト代を含む。当日お支払い下さい)

申込方法：FAX または E-mail で「行事名、氏名、所属先名、連絡先 (TEL, FAX, E-mail)」および「建築学会会員は会員番号」、「協賛団体会員は団体名」を明記のうえ申し込む。

(注) E-mail で申し込む場合は、必ず件名欄に「11.7 コロキウム参加希望」と記入して下さい。“無 題”の場合は削除される場合があります。

申込・問合せー日本建築学会近畿支部 TEL：06-6443-0538 FAX：06-6443-3144

E-mail：aij-kinki@kfd.biglobe.ne.jp